

PCS-6000 ウィルス対策手順書 (2006/6/8)

はじめに

ソニー製品をご愛用いただきありがとうございます。

昨今、Windows OS に対するウィルス問題が深刻さを増しております。

PCS-6000 は OS として Windows 2000 (英語版) を採用しており、LAN に接続している場合は ウィルスに感染する恐れがあるため、ウィルス対策作業に限り、お客様に Windows 画面を公開し、対策が実施できるよう本手順書をご案内いたします。今後、マイクロソフト社から提供される、ウィルス対策ソフトについて、お客様自身でダウンロードしてインストールして頂く事が可能です。PCS-6000 に関わるウィルス対策のご案内は、本ホームページにて適宜情報を提供致します。誠にお手数ですが、本手順書に従ってお客様の PCS-6000 を ウィルス感染から防いでいただくようお願いいたします。

今後ともソニー製品をご愛顧のほどよろしくお願ひいたします。

対象となる PCS-6000

LAN に接続している PCS-6000 が対象となります。

ISDN、V.35 または RS-449 だけで接続している PCS-6000 は対象となりません。

作業に入る前に

作業には

- (1) 最初の一度だけの作業
- (2) 繙続的なセキュリティーメンテナンスの作業
- (3) ウィルス対策ソフトのインストールをご希望される場合

があります。

最初の一度だけの作業で約 3 時間 30 分かかります。

ウィルス対策ソフトのインストールをご希望される場合、Norton AntiVirus 2006 (英語版) の インストール、設定で約 2 時間 30 分かかります。

また、Norton AntiVirus 2006 (英語版) のインストール中に画面の更新が非常に遅くなる場合 がありますが、上記作業に時間がかかる以外、実際の PCS-6000 の動作は支障ありません。

作業手順

作業には最初に 1 度だけ実施する作業と、定期的に Windows Update を実施する作業があります。

最初の一度だけの作業手順

1、1 章の「PCS-6000 Ver.5.02 リカバリー手順」にしたがって、PCS-6000 システムソフトウェアのバージョンアップを実施します。

既に Ver.5.02 にバージョンアップを済ませているお客様は 1 章をスキップしてください。
バージョンは「設定メニュー」→「機器情報メニュー」のホストバージョンでご確認になれ

ます。

- 2、Windows のネットワーク共有を通じてのウィルス感染を防ぐため、2 章の「PCS-6000 Administrator パスワード設定手順」にしたがって PCS-6000 システムソフトウェアに Administrator パスワードを設定してください。
- 3、Windows の Web サーバー、ftp サーバー機能を通じてのウィルス感染を防ぐため、3 章の「PCS-6000 IIS 設定手順」にしたがって、PCS-6000 の Web サーバーと ftp サーバー機能を停止してください。
なお、Web サーバー機能を停止すると、Web を介しての PCS-6000 の操作が出来なくなります。Web を介しての PCS-6000 の操作が必要なお客様は、ftp サーバー機能のみ停止してください。ftp サーバー機能を停止しても PCS-6000 の機能に影響はありません。
- 4、マイクロソフトより提供されている、現時点までのサービスパック、セキュリティーパッチをインストールするため、4 章の「セキュリティアップグレードの手順」にしたがって、現時点までの Windows Update を実施します。

継続的なセキュリティメンテナンスの作業手順

5 章の「継続的なセキュリティメンテナンスの手順」にしたがって、継続的に Windows Update を実施します。なお、この作業には PS/2 キーボードおよびマウスでの操作が必要となりますので、PCS-6000 に常時 PS/2 キーボードおよびマウスを接続しておくことをお勧めします。

ご注意：マイクロソフト社より、セキュリティホールなどのアップデート情報が出された場合、PCS-6000 としての検証を行い対処方法について本 HP に掲載致します。つきましては PCS-6000 の Windows アップデートは弊社からの掲示情報を待って作業を行って頂けるようお願い申し上げます。

ウィルス対策ソフトのインストールをご希望される場合

最初に 1 度だけ実施する作業と定期的に Windows Update を実施する作業により、PCS-6000 にウィルスが感染する可能性は低いですが、さらにウィルス対策ソフトのインストールをご希望されるお客様は、6 章の「アンチウィルスソフトのインストール手順」に従って Norton AntiVirus 2006（英語版）をインストールしてください。他のウィルス対策ソフトを PCS-6000 にインストールした場合の動作保証は出来かねます。

また、Norton AntiVirus 2006（英語版）はお客様自身でご購入ください。

以下に購入先の一例を提示いたします。

(1)、amazon.co.jp からネット購入。

<http://www.amazon.co.jp/gp/product/B000B66TC6/249-0206701-8731576?v=glance&n=637392> にアクセスして Norton AntiVirus2006 International を発注。

(注) Norton AntiVirus2006 International とは Norton AntiVirus2006（英語版）です。

(2)、Laox ザ・コンピューター館（東京都千代田区外神田 1-7-6）で Norton AntiVirus2006

英語版を直接購入
在庫は TEL:03-5256-3111 にて確認可能です。

PCS-6000 Ver.5.02 リカバリー手順

1. 作業前の準備

リカバリーを実行する前に以下の準備を行ってください。

ご用意いただくもの

- PS/2 のキーボードおよびマウス
- ソフトウェアアップグレード CD-ROM(オプションソフトウェアをインストールしている場合)
- PCS-6000/P Ver. 5.02 RECOVERY CD :お手元にない場合、Ver5.02 RECOVERY CD は、CD-ROM での提供になりますので、お手数ですがご購入店にお問い合わせください。
- 8MB 以上のメモリースティック (128MB 以上は不可)。万一リカバリーに失敗したときの対応用ですので、必須ではありません。

1-1 本体背面の「10/100BASE-T」端子に接続されているネットワークケーブルを外します。

※「10/100BASE-T」端子の場所は取扱説明書第5章の「LANでミーティングするときの接続」を参照してください

1-2 PS/2 キーボードおよびマウスを本体背面の「KEYBOARD」端子、「MOUSE」端子にそれぞれ接続します。

※「KEYBOARD」端子は「10/100BASE-T」端子の左隣に、「MOUSE」端子はさらにその左隣にあります

1-3 本体の電源を入れます。

※取扱説明書第1章の「電源を入れる」を参照してください

1-4 LAN 設定メニューの1ページ目の各項目(DHCP モード、ホストネーム、IP アドレス、ネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレス)の内容を控えます。

※LAN 設定は取扱説明書第1章の「設定メニューの項目」を参照してください

※付録(1章最終ページ)の「LAN 設定の控え」に書き込んでください

※LAN の設定以外に管理者設定メニューで設定されたパスワード(管理者パスワード、スーパーユーザーパスワード、リモートアクセスパスワード)もリカバリーによりリセット(消去)されますので、リカバリー後再度設定していただく必要があります

1-5 機器情報メニューでインストールされているオプションソフトウェアを調べ、該当するソフトウェアのアップグレードキット CD-ROM を用意します。

※内容の詳細は取扱説明書第1章の「設定メニューの項目」を参照してください

※アップグレードキットがお手元に無い場合は購入元にお問い合わせください。

2. 設定ファイルとアドレス帳のバックアップ

万一に備えて「設定ファイル」と「アドレス帳」のバックアップを行います。

メモリースティックをお手元に用意していない場合は手順3に進んでください。

2-1 デスクトップターミナルにメモリースティックを挿入する

2-2 キーボードの「Alt」と「F4」キーを同時に押す

※PCS-6000 のアプリケーションが終了し、Windows のデスクトップが表示されます

2-3 「スタート」→「プログラム」→「Accessories」から「Windows Explorer」を起動する

2-4 D ドライブの D:\PCS6000\user にある「PCS_DLST.CSV」と「PCS_STUP.CSV」の 2 つのファイルをメモリースティック (F:) にコピーする

3. リカバリー作業の手順

PCS-6000/P Ver. 5.02 RECOVERY CD を用いて、以下の手順でリカバリーを実施してください。

〈ご注意〉

一度リカバリーを開始したら中断しないでください。また、データのコピー中に電源を切ったり、リカバリーCDを取り出したりしないでください

3-1 本体前面の CD-ROM/ハードディスクカバーを開けます。

3-2 EJECT ボタンを押して CD-ROM トレイを出します。

3-3 リカバリーCD の 1 枚目 (RECOVERY CD 1/2) を CD-ROM トレイにセットし、EJECT スイッチを押します。

3-4 本体の電源スイッチを 2 秒以上押したままにして、電源を切ります。

3-5 本体の電源を入れるとリカバリーCD の内容のコピーが開始されます。

※コピーは約 15 分かかります(1枚目: 約 10 分、2枚目: 約 5 分)

3-6 1 枚目のデータのコピーが終了すると、2 枚目のリカバリーCD を要求するメッセージが以下のように表示されます。

Insert media 2 containing
file "E:PQER.002" into drive E:.

3-7 このメッセージが表示されたら、EJECT スイッチを押して 1 枚目のリカバリーCD を取り出し、2 枚目のリカバリーCD (RECOVERY CD 2/2) をセットし EJECT スイッチを押し、CD-ROM ドライブのランプの点滅が止まってからキーボードの Enter キーを押します。

3-8 2 枚目のデータのコピーが開始され、コピーが終了するとプロンプト (E:/>) が表示されます。

3-9 プロンプトが表示されたら EJECT スイッチを押し、リカバリーCD を取り出します。

3-10 本体の電源スイッチのランプが消えるまで、電源スイッチを 6 秒以上押したままにします。

3-11 再び本体の電源を入れしばらくすると Product key 入力画面が表示されます。

3-12 CD-ROM/ハードディスクドライブ内側の Product key ラベルに記載されている 25 桁のキーコードをキーボードから入力し、Enter キーを押します。

- 3-13 「Computer Name and Administrator Password」入力画面が表示されるので、キーボードの Enter キーを押します。
- 3-14 自動的に再起動した後「General Setup Wizard」が表示されるので、リモコンを用いて「次へ」を押します。
- 3-15 「ISDN Setup Wizard」が表示されるので、リモコンを用いて「次へ」を押します。
※「ISDN Setup Wizard」はオプションボードの構成により複数ページ表示されることがあります、すべて「次へ」を押してください
- 3-16 「LAN Setup Wizard」が表示されるので、リモコンを用いて「次へ」を押し、最後に「保存」を押します。
- 3-17 トップメニューが表示されます。

4. 万一リカバリーに失敗したときは

一度はじめたリカバリーを途中で中断(キャンセル)した場合、D ドライブが消失してしまいます。この場合は以下の手順で修復してください。
正常にリカバリーが終了した場合は手順 5 へ進んでください。

- 4-1 キーボードの「Alt」と「F4」キーを同時に押します
※PCS-6000 のアプリケーションが終了し、Windows のデスクトップが表示されます
- 4-2 デスクトップの「My Computer」を右クリックしプルダウンメニューから「Manage」を左クリック
- 4-3 Computer Management (Local) のファイルリスト内の「Storage」をダブルクリック
- 4-4 Disk Management (Local) をダブルクリックします
- 4-5 Disk0 Free Space と表示された緑色のディスク領域を右クリックし、プルダウンメニューから Create Logical Drive を左クリック
- 4-6 Create Partition Wizard が表示されるので「NEXT」をクリック
- 4-7 Select Partition Type と表示されるので「NEXT」をクリック
- 4-8 Amount of disk space to use: で「6504」MB と入力して「NEXT」をクリック
- 4-9 Assign a drive letter: が「D:」になっていることを確認して「NEXT」をクリック
- 4-10 Format this partition with the following settings: で以下のように設定します
File system to use: FAT32
Allocation unit size: Default
Volume label: DATA
Perform a Quick Format チェックボックスにチェックを入れます
- 4-11 Completing the Create Partition Wizard で「Finish」をクリックします
※緑色のディスク領域が青色になり DATA(D:) 6.5GB FAT32 に変わります
- 4-12 ウィンドウを閉じます
- 4-13 My Computer の DATA(D:) に「PCS6000」というフォルダを作成します

※PCS と 6000 の間に「-」(ハイフン)は入りませんのでご注意ください

4-14 「PCS6000」 フォルダの下に「setup」「upgrade」「user」という 3 つのフォルダを作成します

4-15 「user」 フォルダに共有設定を行う(右クリックでプルダウンを表示し Properties を選択、Sharing タブを開き Share this folder にチェックを入れ「OK」をクリック)

4-16 「user」 フォルダの下に「data」 フォルダを作成します

4-17 「user」 フォルダの下にメモリースティック(F:)にバックアップした「PCS_DLST.CSV」および「PCS_STUP.CSV」をコピーします

4-18 すべてのウィンドウを閉じます

4-19 本体の電源を 2 秒以上押し電源を切ります

4-20 再度本体の電源を入れると一度リブートした後に本体が起動します

4-21 設定およびアドレス帳が元に戻っていることを確認します

※復元されるのは設定とアドレス帳のみです。データ会議用のデータファイル、静止画データ、および通信ログやシステムログなどのログファイルは復元されません

5. オプションソフトウェアの再インストール

手順 1-5 で用意したアップグレードキットでソフトウェアのアップグレードを行ってください。

5-1 本体前面の CD-ROM/ハードディスクカバーを開け、EJECT ボタンを押し、CD-ROM トレイを出します。

5-2 アップグレード CD を CD-ROM トレイにセットし EJECT ボタンを押します。

5-3 自動的にアップグレードが開始され、本体が再起動します。

5-4 EJECT ボタンを押してアップグレード CD を取り出します。

5-5 機器情報メニューの「ホストバージョン」が「Ver5.02」になっていること、および「ソフトウェアオプション」でアップグレードが正常に行われていることを確認します。

※PCS-UC600(MCU)、PCS-UC601(LAN)両方のオプションをお持ちの場合はそれぞれに対して上記の手順を行ってください

※PCS-UC600(MCU)をインストールした場合「マルチポイント」、PCS-UC601(LAN)をインストールした場合「H.323」、両方をインストールした場合「マルチポイント&H.323」と表示されます

6. ネットワーク情報の再設定

6-1 本体の電源スイッチを 2 秒以上押したままにして、電源を切ります。

6-2 引き続き 2 章以降の作業を実施しない場合は、手順 1-2 で装着した PS/2 キーボードおよびマウスを取り外します。

- 6-3 手順 1-1 で取り外したネットワークケーブルを「10/100BASE-T」端子に接続します。
- 6-4 本体の電源を入れます。
- 6-5 トップメニューの上に再起動を尋ねるウィンドウ画面が表示された場合は、リモコンのジョイスティックでカーソルを移動し「Yes」を選択してジョイスティックを押します。
すると再起動が開始され、再度、トップメニューが表示されます。
- 6-6 手順 1-4 で控えた内容を参照して、LAN 設定メニューの各項目を設定します。
- 6-7 リカバリー前に管理者設定メニューの管理者パスワード、スーパーユーザーパスワード、リモートアクセスパスワードのそれぞれのパスワードが設定されていた場合は再度設定を行います。
- 6-8 「保存」を押すと設定が保存され本体が再起動されます。

以上でリカバリー作業は完了です。

<付録> LAN 設定の控え

※ LAN 設定メニューの 1 ページ目の設定内容をご覧になって記入してください。

DHCP モード	<input type="checkbox"/> オート <input type="checkbox"/> オフ
ホストネーム	
IP アドレス	.
ネットワークマスク	.
ゲートウェイアドレス	.
DNS アドレス	.

2章 「PCS-6000 Administrator パスワード設定手順」

- 1-1 PCS-6000 の電源をOFFします。(PS/2 キーボードおよびマウスをすでに接続済みの場合は 1-1, 1-2 をスキップしてください。)
- 1-2 PS/2 キーボード、PS/2 マウスを本体背面の「KEYBOARD」端子、「MOUSE」端子にそれぞれ接続します。
※ 「KEYBOARD」端子は「10/100BASE-T」端子の左隣に、「MOUSE」端子はさらにその左隣にあります
- 1-3 電源を投入して、PCS-6000 の初期画面が表示されることを確認します。
キーボードから “Alt” “Ctrl” “Delete” キーを同時に押すと、セキュリティに関するウィンドウズ画面が表示されます。
- 1-4 セキュリティに関するウィンドウズ画面の「パスワードの変更 (C)」を選び、左クリックします。
- 1-5 「新しいパスワード (N)」続いて「新しいパスワードの確認入力 (C)」に pcs6000 と入力し、「OK」を選び、左クリックします。(pcs6000 以外のユニークなパスワードを入れることも可能です。)
- 1-6 「パスワードは変更されました」と表示されたウィンドウ画面が現れるので「OK」を選び、左クリックします。
- 1-7 セキュリティに関するウィンドウズ画面に戻るので「キャンセル」を選び、左クリックします。
- 1-8 PCS-6000 の初期画面に戻ります。
- 1-9 引き続き 3 章以降の作業を実施しない場合は、本体の電源スイッチを 2 秒以上押したままにして電源を切り、PS/2 キーボードおよびマウスを取り外します。
- 1-10 本体の電源を入れます。
- 1-11 トップメニューの上に再起動を尋ねるウィンドウ画面が表示された場合は、リモコンのジョイスティックでカーソルを移動し「Yes」を選択してジョイスティックを押します。
すると再起動が開始され、再度、トップメニューが表示されます。

3 章 「「PCS-6000 IIS 設定手順」

PCS-6000 の Web サーバーや ftp サーバー機能を停止する際の操作手順を示します。

1. Web サーバー機能を停止する際のご注意

- Web サーバー機能を停止させると Web を介しての PCS-6000 コントロールが出来ません。

2. 操作手順

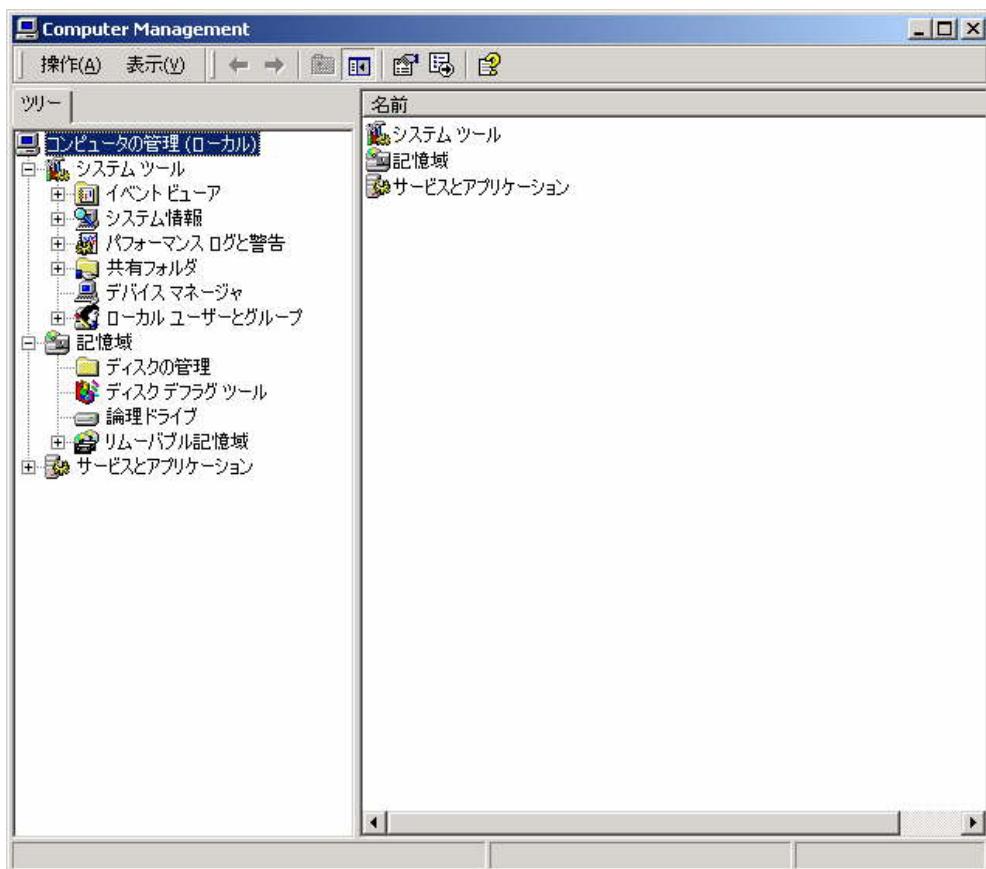
2-1 PCS-6000 の電源をOFFします。(PS/2 キーボードおよびマウスをすでに接続済みの場合 は 2-1, 2-2 をスキップしてください。)

2-2 PS/2 キーボード、PS/2 マウスを PCS-6000 のリアパネルに接続します。

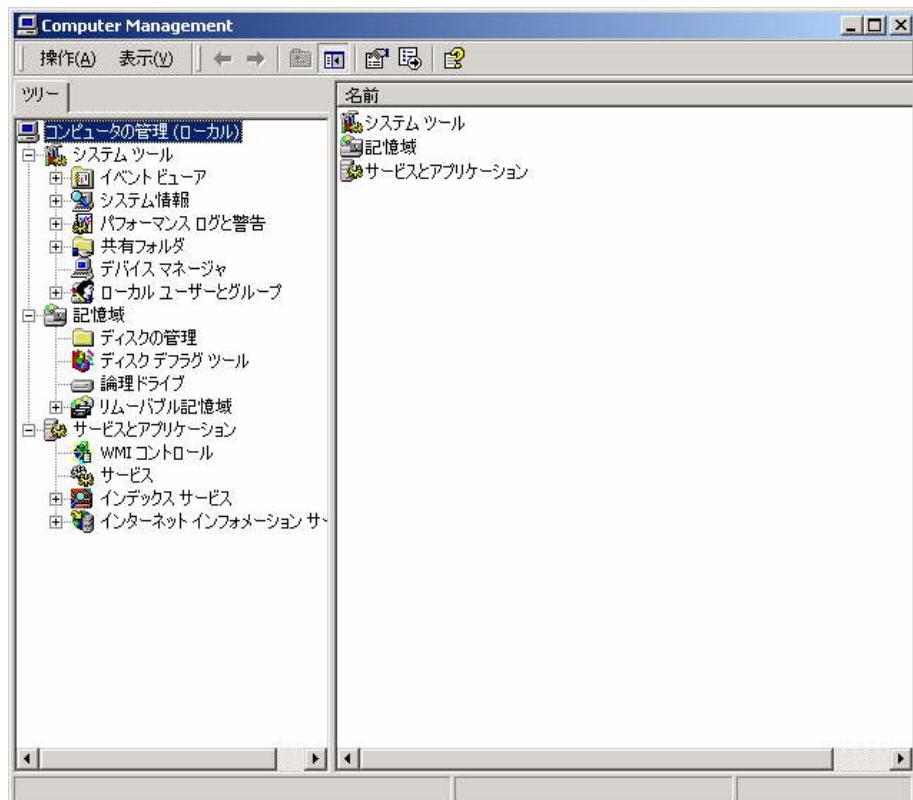
2-3 電源を投入して、PCS-6000 の初期画面が表示されることを確認します。

2-4 キーボードから “Alt” キーを押しながら “F4” キーを押すと、PCS-6000 のアプリケーションが終了して、Windows のデスクトップ画面が表示されます。

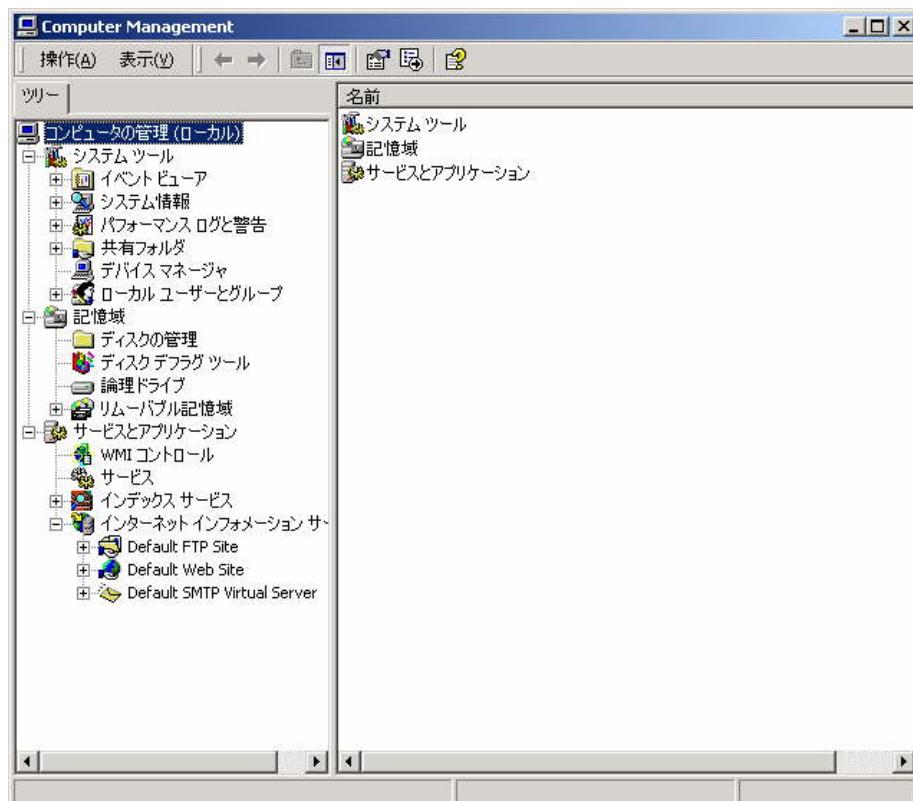
2-5 デスクトップ画面の左上の「マイコンピュータ」を選び、右クリックで「Manage」を選択します。下記の画面が表示されます。



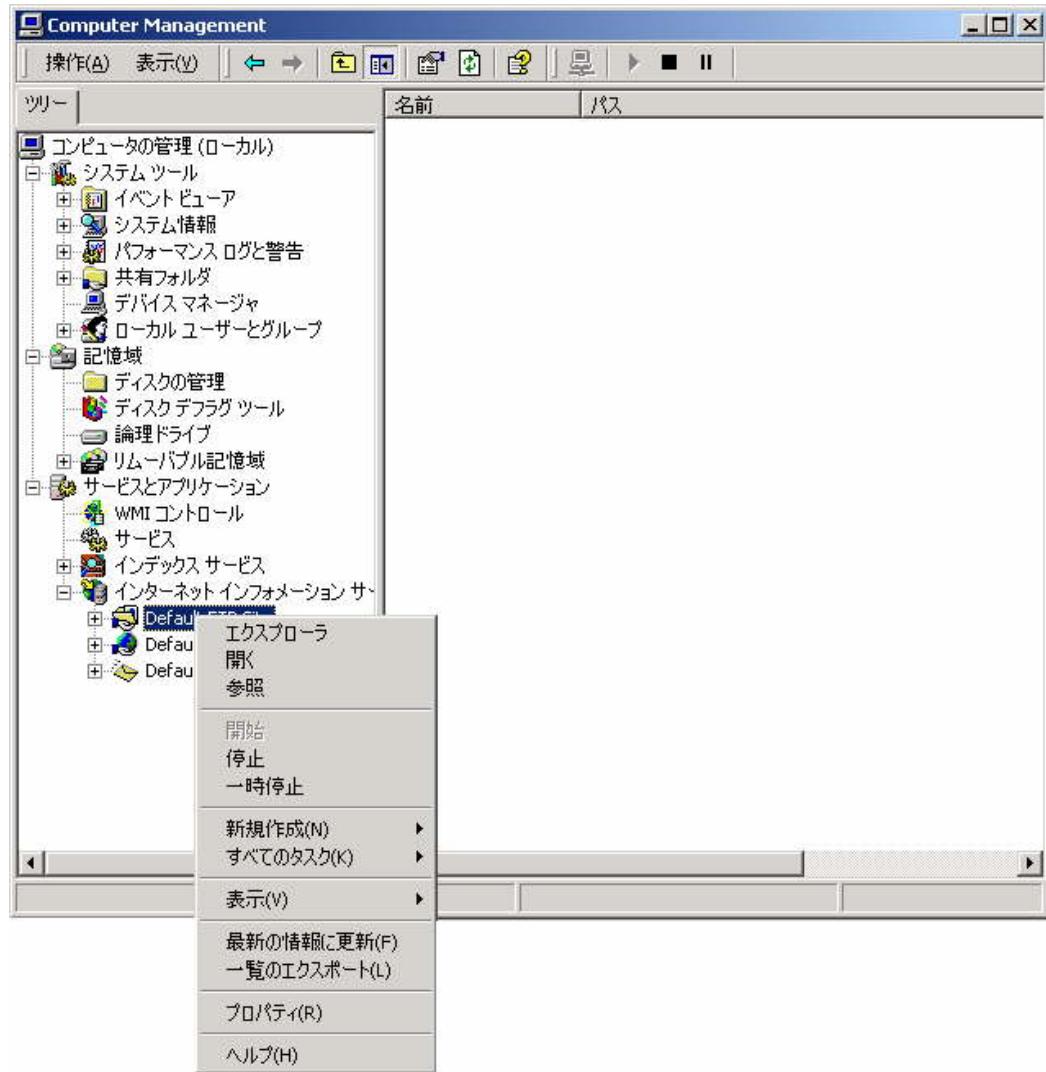
2-6 「サービスとアプリケーション」の左側の+をクリックすると、下記の画面になります。



2-7 「インターネットインフォメーションサービス」の左側の+をクリックすると、下記の画面になります。



2-8 「Default FTP Site」 を選び右クリックすると、下記の画面が表示されるので、「停止」を選びます。（注）ftp 機能を有効にしておきたい場合はスキップします。



2-9 同様に、「Default Web Site」 を選び右クリックから「停止」を選びます。

（注）Web 機能を有効にしておきたい場合はスキップします。

2-10 これで、ftp 及び Web サーバーの機能は停止しましたので、画面右上の×を選んで画面を消去させます。

2-11 Windows のタスクバーから「スタート」 – 「シャットダウン」を選んでシステムをシャットダウンさせます。本体が再起動してトップメニューが表示されます。

2-12 引き続き 4 章以降の作業を実施しない場合は、本体の電源スイッチを 2 秒以上押したままにして電源を切り、PS/2 キーボードおよびマウスを取り外します。

2-13 本体の電源を入れます。

2-14 トップメニューの上に再起動を尋ねるウィンドウ画面が表示された場合は、リモコンのジョイスティックでカーソルを移動し「Yes」を選択してジョイスティックを押します。すると再起動が開始され、再度、トップメニューが表示されます。

4章 セキュリティアップグレードの手順

インストール前の準備:

マイクロソフトのホームページから Windows Update を実施するためネットワーク設定をインストール前に確認します。

- ・PCS-6000 のホスト名と IP アドレス
- ・DHCP サーバーの有無、無しの場合にはアドレス
- ・Subnet Mask
- ・DNS アドレス
- ・Gateway アドレス
- ・Proxy サーバーの有無、有りの場合にはアドレスとポート番号

1. インストール前の設定

- 1) PCS-6000 の電源を OFF します。(PS/2 キーボードおよびマウスを既に接続済みの場合は 1), 2) をスキップしてください。)
- 2) PS/2 キーボード、マウスを PCS-6000 背面上部の KEYBOARD/MOUSE 端子に接続します。
- 3) PCS-6000/P 背面上部の 10/100BASE-T 端子にネットワークに接続された LAN ケーブルを挿入します。
- 4) PCS-6000/P 本体の電源を投入します。
- 5) 言語設定が英語以外の場合、一般設定の言語設定を英語に変更します。変更が行われると再起動されます。

<ご注意>

WindowsUpdate を行う際は、後の不具合を避けるために、必ず言語設定を英語にしてください。

- 6) トップメニューが表示されたら、LAN 設定メニューや機器情報メニューでお客様のネットワーク環境になっているか確認します。
 - ・ Host Name
 - ・ IP Address特に、LAN 設定メニューで DHCP モードがオフに設定されている場合、IP アドレス、ネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスが正しく入力されている必要があります。
変更が必要な場合は、LAN 設定メニューで入力します。LAN 設定を変更した場合、PCS-6000/P が再起動されるので、再びトップメニューが表示されたら、機器情報メニューで設定された値が有効になっていることを確認します。
- 7) トップメニューが表示されている状態で、キーボードから”Alt+F4”を押して PCS-6000/P conference application を強制終了します。Windows2000 のデスクトップ画面が表示されます。

2. Network setting

2. 1 LAN 設定

Windows2000 の LAN 設定を確認します。

- 1) Windows2000 の Start メニューで、”Run...”を選びます。
- 2) ダイアログが表示されるので、”cmd”と入力するとコマンドプロンプトの画面が表示されます。
- 3) “ipconfig /all”と入力して応答メッセージを確認します。

Ethernet adapter Local Area Connection: の抜粋

IP Address

Subnet Mask

Default Gateway

DHCP Server

DNS Server

のアドレス表示などがお客様のネットワーク環境に合致していることを確認します。

- 4) 確認後、ウィンドウを閉じます。

(補足)

PCS-6000 の設定が DHCP ON の場合、DNS Server が設定されない場合があります。

そのばあい、次のように DNS Server を設定します。

Start > Settings > Control Panel > Network and Dial-up Connections >
Local Area Connections (右クリック) > Properties > Internet Protocol[TCP/IP]>
Properties で、

Use the following DNS server address: を選び、例えば、

Preferred DNS server: 43.15.126.4

と入力し、OK ボタンを押して設定します。

2. 2 Proxy 設定

PCS-6000/P を設置する場所において、Internet アクセスに proxy を使用しているケースがあります。この場合 Internet Explore の proxy 設定を利用して Internet アクセスを行うので、Internet Explorer の proxy 設定を行います。

方法:

- 1) デスクトップ上の Internet Explorer のアイコンを右クリックします。
- 2) Properties を選択します。
- 3) 開いたダイアログの中から、Connections のタブを選択します。
- 4) LAN Setting...のボタンを選択します。
- 5) Automatically detect setting のチェックを外します
- 6) Use a proxy server にチェックを入れ、proxy サーバーのアドレスとポート番号を設定します。
- 7) OK を選択してダイアログを閉じます

上記手順は、Windows2000 Professional が搭載される PC と同様の設定方法なので、proxy サーバーアドレスやポート番号は設置先のネットワーク管理者から取得して下さい。

設定完了後、Internet Explorer のアイコンをダブルクリックしてインターネットにアクセス

スできることを確認しておきます。

3 Windows Update 手順

- 1) Start > Windows Update を実行します。
- 2) Security Warning のダイアログが現れるので、Yes ボタンを押します。
- 3) -> previous version of the website をクリックします。
- 4) Security Warning のダイアログが現れるので、Yes ボタンを押します。
- 5) -> Scan for update をクリックします。
- 6) -> Review and install updates をクリックします。
- 7) Internet Explorer のダイアログが現れるので、Yes ボタンを押します。
- 8) インストールする項目の一覧が現れるので、Install Now ボタンを押します。

以下、インストールする項目がなくなるまで、Windows Update を繰り返します。

トラブルを避けるため、再起動は毎回行ってください。

Windows Update の操作の詳細は以下に示します。

最初にインストールされるのは Internet Explorer 6.0 (SP1)。

次にインストールされるのは、Windows 2000 Service Pack 4。

その後は、Internet Explorer 6.0 のパッチなどの Hotfix が当てられます。

3. 1 Windows Update の詳細手順（1）

- 1) Microsoft Internet Explorer のダイアログが現れるので、OK ボタンを押します。
 - 2) Windows Update: Internet Explorer and Internet Tools のダイアログが現れるので、accept the agreement を選び、Next ボタンを押します。
 - 3) 更にダイアログが現れるので、Next ボタンを押します。
 - 4) ダウンロードとインストールが始まります。（約 7 分）
時間は LAN 環境に依存します。
 - 5) Microsoft Internet Explorer のダイアログが Do you want to restart now? と聞くので、OK ボタンを押す。
トラブルを避けるため、必ず再起動させてください。
再起動すると設定動作があるため、再起動には通常より長くかかります。
-

- 6) PCS-6000 の操作画面が完全に立ち上ったら、Alt + F4 キーを押し、PCS-6000 のアプリケーションを終了させます。
- 7) Start > Windows Update を実行します。
- 8) -> Scan for Updates をクリックします。
- 9) -> Review and install updates をクリックします。

-
- 10) インストールする項目の一覧が現れるので、Install Now ボタンを押します。

3. 2 Windows Update の詳細手順（2）

- 1) Microsoft Internet Explorer のダイアログが現れるので、OK ボタンを押します。
 - 2) Windows 2000 Service Pack 4 Setup Wizard のダイアログが現れるので、Next ボタンを押します。
 - 3) License Agreement のダイアログが現れるので、I agree を選び、Next ボタンを押します。
 - 4) Select Options のダイアログが現れるので、Do Not Active Files を選択して Next ボタンを押します。
 - 5) ダウンロードとインストールが始まります。（約 30 分）時間は LAN 環境に依存します。
 - 6) ダウンロードとインストールが終わると、ダイアログが現れるので、Finish ボタンを押します。
 - 7) Microsoft Internet Explorer のダイアログが Do you want to restart now? と聞くので、OK ボタンを押します。
トラブルを避けるため、必ず再起動させてください。
-

- 8) PCS-6000 の操作画面が完全に立ち上ったら、Alt + F4 キーを押し、PCS-6000 のアプリケーションを終了させます。
- 9) Start > Windows Update を実行します。
- 10) Get the latest Windows Update software のタイトル画面が表示されるので、->Install Now をクリックします。

3. 3 Windows Update の詳細手順（3）

- 1) Express と Custom を選択する画面が表示されるので Express をクリックします。
 - 2) しばらくスキャンした後、ダウンロード画面が表示されるので Download and Install Now をクリックします。
ダウンロードとインストールのダイアログが現れるので、触らないでください。（約 7 分）
 - 3) You have successfully updated your computer のダイアログが現れるので、Restart Now をクリックします。
トラブルを避けるため、必ず再起動させてください。
-

- 4) PCS-6000 の操作画面が完全に立ち上ったら、Alt + F4 キーを押し、PCS-6000 のアプリケーションを終了させます。
- 5) Start > Windows Update を実行します。

3. 4 Windows Update の詳細手順（4）

- 1) Express と Custom を選択する画面が表示されるので Express をクリックします。
 - 2) しばらくスキャンした後、Review and Install Update 画面が表示されるので Install Updates をクリックします。
 - 3) License Agreement のダイアログが現れるので、I Accept を選びます。
ダウンロードとインストールのダイアログが現れるので、触らないでください。(約 45 分)
 - 4) You have successfully updated your computer のダイアログが現れるので、Restart Now をクリックします。
トラブルを避けるため、必ず再起動させてください。
-

- 5) Start > Windows Update を実行します。

3. 5 Windows Update の詳細手順（5）

- 1) Express と Custom を選択する画面が表示されるので Express をクリックします。
 - 2) しばらくスキャンした後、Review and Install Update 画面が表示されるので Install Updates をクリックします。
ダウンロードとインストールのダイアログが現れるので、触らないでください。
 - 3) You have successfully updated your computer のダイアログが現れるので、Close をクリックします。
以上で Windows Update は終了です。
Windows Update のウィンドウを閉じます。
-
- 4) Start > Settings > Control Panel > Automatic Updates を起動します。
Automatic Updates 機能になっていたら止めます。
OK ボタンを押して終了します。
 - 5) 開いているウィンドウを閉じます。
 - 6) Start > Shut Down
ダイアログが現れたら、Shut down を選び、OK ボタンを押します。
再び PCS-6000 が起動されます。
 - 7) 言語が英語以外だった場合は、元に戻します。
PCS-6000 Setup (設定) > General (一般) で Language (言語) を所定の言語に戻します。English (英語) 以外に設定し直した場合、再起動されます。

5章 繼続的なセキュリティメンテナンスの手順

インストール前の準備:

マイクロソフトのホームページから Windows Update を実施するためネットワーク設定をインストール前に確認します。

- ・PCS-6000 のホスト名と IP アドレス
- ・DHCP サーバーの有無、無しの場合にはアドレス
- ・Subnet Mask
- ・DNS アドレス
- ・Gateway アドレス
- ・Proxy サーバーの有無、有りの場合にはアドレスとポート番号

ご注意：マイクロソフト社より、セキュリティホールなどのアップデート情報が出された場合、PCS-6000 としての検証を行い対処方法について本 HP に掲載致します。なお、検証期間としては、マイクロソフト社からの掲示から一週間以内を予定しております。つきましてはPCS-6000 の Windows アップデートは弊社からの掲示情報を待って作業を行って頂けるようお願い申し上げます。

1. インストール前の設定

- 1) PCS-6000 の電源を OFF します。(PS/2 キーボードおよびマウスを既に接続済みの場合は 1),2)をスキップしてください。)
- 2) PS/2 キーボード、マウスを PCS-6000 背面上部の KEYBOARD/MOUSE 端子に接続します。
- 3) PCS-6000/P 背面上部の 10/100BASE-T 端子にネットワークに接続された LAN ケーブルを挿入します。
- 4) PCS-6000/P 本体の電源を投入します。
- 5) 言語設定が英語以外の場合、一般設定の言語設定を英語に変更します。 変更が行われると再起動されます。

<ご注意>

WindowsUpdate を行う際は、後の不具合を避けるために、必ず言語設定を英語にしてください。

- 6) トップメニューが表示されたら、LAN 設定メニューや機器情報メニューでお客様のネットワーク環境になっているか確認します。
(ア) Host Name
(イ) IP Address

特に、LAN 設定メニューで DHCP モードがオフに設定されている場合、IP アドレス、ネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスが正しく入力されている必要があります。

変更が必要な場合は、LAN 設定メニューで入力します。LAN 設定を変更した場合、PCS-6000/P が再起動されるので、再びトップメニューが表示されたら、機器情報メニューで設定された値が有効になっていることを確認します。

- 7) トップメニューが表示されている状態で、キーボードから”Alt+F4”を押して PCS-6000/P conference application を強制終了します。Windows2000 のデスクトップ画面が表示されます。

2. Network setting

2. 1 LAN 設定

Windows2000 の LAN 設定を確認します。

- 1) Windows2000 の Start メニューで、”Run...”を選びます。
- 2) ダイアログが表示されるので、”cmd”と入力するとコマンドプロンプトの画面が表示されます。
- 3) “ipconfig /all”と入力して応答メッセージを確認します。

Ethernet adapter Local Area Connection: の抜粋

IP Address

Subnet Mask

Default Gateway

DHCP Server

DNS Server

のアドレス表示などがお客様のネットワーク環境に合致していることを確認します。

- 4) 確認後、ウィンドウを閉じます。

(補足)

PCS-6000 の設定が DHCP ON の場合、DNS Server が設定されない場合があります。

そのばあい、次のように DNS Server を設定します。

Start > Settings > Control Panel > Network and Dial-up Connections >
Local Area Connections (右クリック) > Properties > Internet Protocol[TCP/IP]>
Properties で、

Use the following DNS server address: を選び、例えば、

Preferred DNS server: 43.15.126.4

と入力し、OK ボタンを押して設定します。

2. 2 Proxy 設定

PCS-6000/P を設置する場所において、Internet アクセスに proxy を使用しているケースがあります。この場合 Internet Explore の proxy 設定を利用して Internet アクセスを行うので、Internet Explorer の proxy 設定を行います。

方法:

- 1) デスクトップ上の Internet Explorer のアイコンを右クリックします。
- 2) Properties を選択します。
- 3) 開いたダイアログの中から、Connections のタブを選択します。
- 4) LAN Setting...のボタンを選択します。
- 5) Automatically detect setting のチェックを外します
- 6) Use a proxy server にチェックを入れ、proxy サーバーのアドレスとポート番号を設定します。

7) OK を選択してダイアログを閉じます

上記手順は、Windows2000 Professional が搭載される PC と同様の設定方法なので、proxy サーバーアドレスやポート番号は設置先のネットワーク管理者から取得して下さい。

設定完了後、Internet Explorer のアイコンをダブルクリックしてインターネットにアクセスできることを確認しておきます。

3. Windows Update 手順

- 1) Start > Windows Update を実行します。
- 2) Express と Custom を選択する画面が表示されるので Express をクリックします。
- 3) しばらくスキャンした後、Review and Install Update 画面が表示されたら Install Updates をクリックします。
- 4) インストールするものが無ければ、完了です。

- 5) 開いているウィンドウを閉じます。
- 6) Start > Shut Down

ダイアログが現れたら、Shut down を選び、OK ボタンを押します。
再び PCS-6000 が起動されます。
- 7) 言語が英語以外だった場合は、元に戻します。
PCS-6000 Setup (設定) >General (一般) で Language (言語) を所定の言語に戻す。English (英語) 以外に設定し直した場合、再起動されます。

6章 「アンチウィルスソフトのインストール手順」

ご注意： Norton AntiVirus 2006（英語版）はお客様ご自身でご購入ください。

インストール前の準備：

インストール中に、Symantec のホームページからパターンファイル等をダウンロードするためネットワーク設定をインストール前に確認します。

- ・PCS-6000 のホスト名と IP アドレス
- ・DHCP サーバーの有無、無しの場合にはアドレス
- ・Subnet Mask
- ・DNS アドレス
- ・Gateway アドレス
- ・Proxy サーバーの有無、有りの場合にはアドレスとポート番号

1. インストール前の設定

- 1) PS/2 キーボード、マウスを PCS-6000 背面上部の KEYBOARD/MOUSE 端子に接続します。
- 2) PCS-6000/P 背面上部の 10/100BASE-T 端子にネットワークに接続された LAN ケーブルを挿入します。
- 3) PCS-6000/P 本体の電源を投入します。
- 4) 言語設定が英語以外の場合、一般設定の言語設定を英語に変更します。 変更が行われると再起動されます。

＜ご注意＞

AntiVirus（英語版）をインストールする際は、後の不具合を避けるために、必ず言語設定を英語にしてください。

- 5) トップメニューが表示されたら、LAN 設定メニューや機器情報メニューでお客様のネットワーク環境になっているか確認します。
 - ・Host Name
 - ・IP Address特に、LAN 設定メニューで DHCP モードがオフに設定されている場合、IP アドレス、ネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスが正しく入力されている必要があります。変更が必要な場合は、LAN 設定メニューで入力します。LAN 設定を変更した場合、PCS-6000/P が再起動されるので、再びトップメニューが表示されたら、機器情報メニューで設定された値が有効になっていることを確認します。
- 6) トップメニューが表示されている状態で、キーボードから”Alt+F4”を押して PCS-6000/P conference application を強制終了する。Windows2000 のデスクトップ画面が表示されます。
- 7) Explorer を起動し、次のフォルダーを選択します
C: Document and Settings -> Administrator -> Start Menu -> Programs

- 8) 選択したフォルダー内に、新しいフォルダーを作成します。名称は tmp を推奨
- 9) Startup フォルダーを開き、中にある Startup.exe というファイルを、先ほど作成した tmp ディレクトリーに移動する。移動完了後にウィンドウを閉じます。
- 10) Windows2000 のスタートメニューから「Shut Down...」から Restart を選び、PCS-6000/P 本体を再起動します。再起動の後、PCS-6000/P の conference application は起動せず、Windows 2000 のデスクトップ画面が表示されます。

2. Network setting

2. 1 LAN 設定

Windows2000 の LAN 設定を確認します。

- 1) Windows2000 の Start メニューで、"Run..." を選ぶ。
- 2) ダイアログが表示されるので、"cmd" と入力するとコマンドプロンプトの画面が表示されます。
- 3) "ipconfig /all" と入力して応答メッセージを確認します。

Ethernet adapter Local Area Connection: の抜粋

IP Address
Subnet Mask
Default Gateway
DHCP Server
DNS Server

のアドレス表示などがお客様のネットワーク環境に合致していることを確認する。

- 4) 確認後、ウィンドウを閉じます。

2. 2 Proxy 設定

PCS-6000/P を設置する場所において、Internet アクセスに proxy を使用しているケースがあります。この場合 Norton AntiVirus は、Internet Explore の proxy 設定を利用して Internet アクセスを行うので、Internet Explorer の proxy 設定を行います。

方法:

- 1) デスクトップ上の Internet Explorer のアイコンを右クリックします。
- 2) Properties を選択します。
- 3) 開いたダイアログの中から、Connections のタブを選択します。
- 4) LAN Setting... のボタンを選択します。
- 5) Automatically detect setting のチェックを外します
- 6) Use a proxy server にチェックを入れ、proxy サーバーのアドレスとポート番号を設定します。
- 7) OK を選択してダイアログを閉じます

上記手順は、Windows2000 Professional が搭載される PC と同様の設定方法なので、proxy サーバーアドレスやポート番号は設置先のネットワーク管理者から取得して下さい。

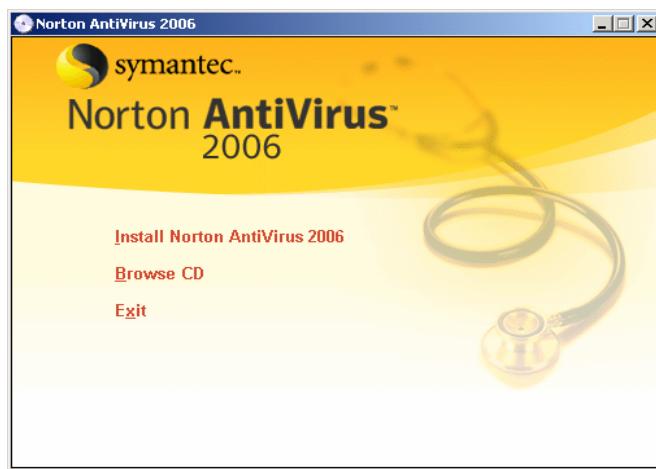
設定完了後、Internet Explorer のアイコンをダブルクリックしてインターネットにアクセスできることを確認しておきます。

3. Norton AntiVirus 2006(英語版)のインストール

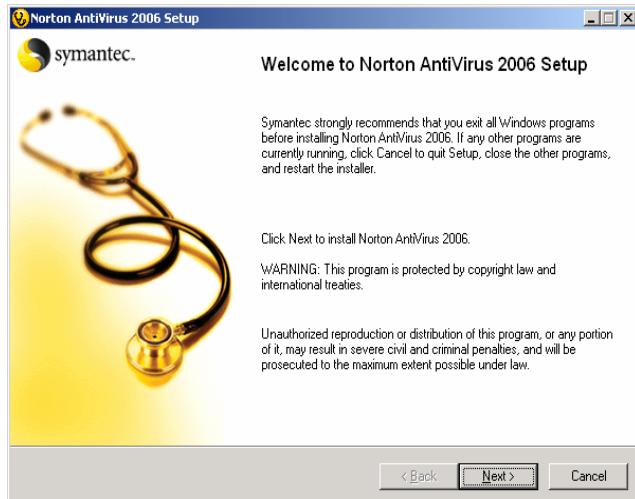
上記までの設定が終了した時点で、Norton AntiVirus のインストールを行います。

- 1) install CD を CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM ドライブは、Auto run の設定がされているので、自動的にインストーラーが起動します。
- 2) 画面に表示されるメッセージにしたがってインストールします。
- 3) インストール中に、ウイルス定義ファイルのアップデートを自動的に行うが、失敗する場合は項目 2 の設定を確認します。

以下、インストール画面について説明します。



インストールが開始されると上記の画面が表示されますので、"Install Norton AntiVirus 2006"を選択します。



その後の画面では "Next" を選択します。

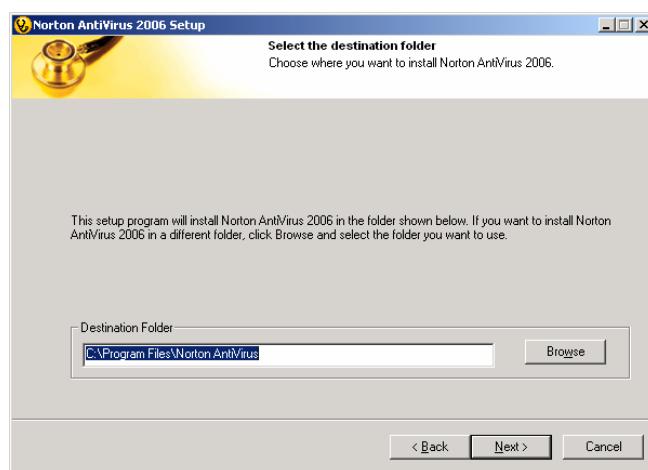


ライセンス認証の画面では、”I accept the license agreement”にチェックし PRODUCT KEY の入力画面が表示されるので、CD-ROM の包装紙に記載されている PRODUCT KEY を入力して”Next”を選択します。

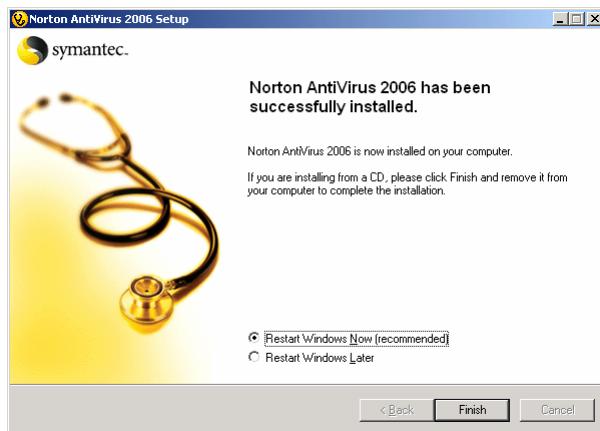


ウィルススキャンを尋ねてくる画面で、ウィルススキャンをせずに”Skip Scan”に続いで”Next”を選択します。

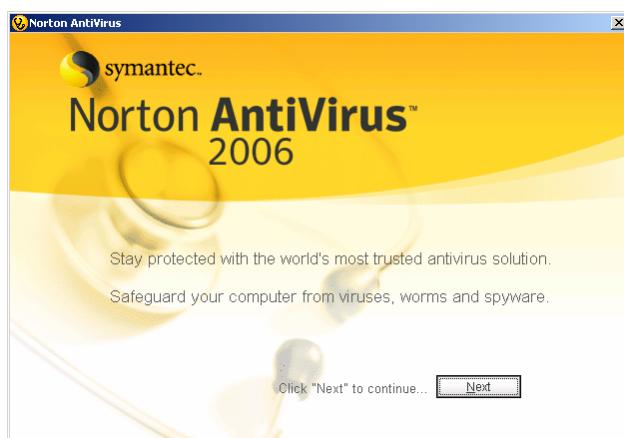
ご注意：お客様の PCS-6000 がウィルスに感染している恐れのある場合は、”Start Scan”を選択してインストール前にウィルススキャンを実行してください。



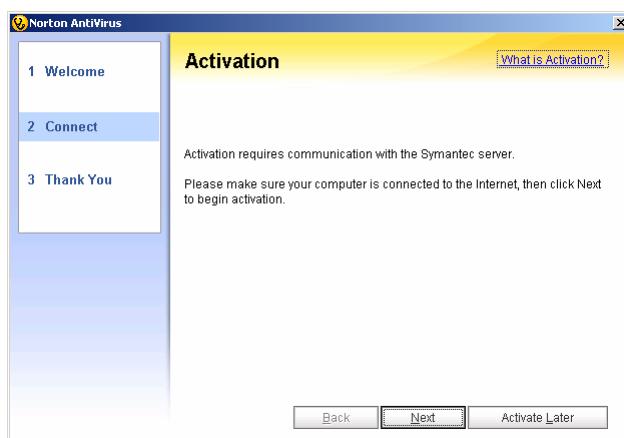
インストールフォルダーの設定はデフォルト値を採用するので、”Next”を選択します。インストールが開始されます。、



インストール完了の画面が表示されるので、“Finish”を選択します。
リスタート後、AntiVirus が自動的に立ち上がり設定作業となります。



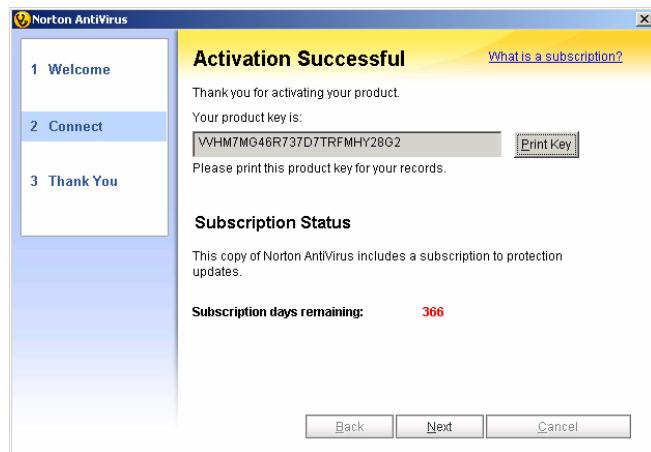
“Next”を選択すると、下記の登録画面になります。



Symantec Serverに接続する画面が出る。接続するので”Next”を選択します。

Symantec Server に接続された画面が出ます。

プロダクトキーは控えておいてください。



"Next"を選択します。



登録画面があるので、登録する場合は必要項目を入力します。

登録しない場合は"Skip"を選択します。

入力したい記号	日本語キーボードでの入力方法
@	" (shift + 2) を入力
\] を入力
:	+(shift + ;) を入力

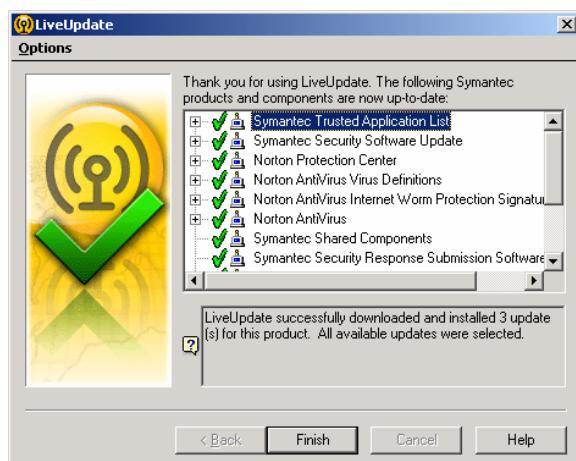


Thank You 画面が出るので”Finish”を選択します。



LiveUpdate の画面では Next を選択します。

更新されたファイルのアップデートが始まります。



LiveUpdate 完了画面がでたら、Finish を選択します
リスタートを聞いてくるので”OK”をクリックします。

再起動の後、ウィルススキャンが開始されます。

13000 ファイルほどスキャンします。スキャンは 60 分ほどかかります。



スキャンが終了したら **Finished** をクリックします。

以上でインストールは終了しましたので CD-ROM を取り出しウィンドウを閉じます。

4. AntiVirus 初期設定変更

PCS-6000 が支障なく動作するために以下の設定変更を実施します。

Windows2000 の Start メニューで「Programs」、「Norton AntiVirus」、「Norton AntiVirus」の順に選択します。

画面が表示されたら、「Options」、「AntiVirus」を選び、「Auto-Protect」メニューの
Show the Auto-Protect icon in the tray
のチェックを外します。

Start Auto-Protect when Windows starts up (recommended)
のチェックを外します。

Turn Auto-Protect on(rcommendded)
のチェックを外し OK ボタンを押します。

ご注意：チェックを外す順番を間違えると、全部のチェックを外すことが出来ません。

「Protection Alert」ウィンドウが表示されるので「Select the duration」を「Permanently」に選択して「OK」ボタンを押します。

5. AntiVirus のスケジュール設定

スケジュールのデフォルト設定では、次のように設定されています。

1)LiveUpdate によるウイルス定義ファイルの自動更新
デフォルトでは自動更新はオフになっています。

自動 LiveUpdate の変更方法

- ・「Norton AntiVirus」を立ち上げ「Automatic LiveUpdate」の「Turn On」をクリックし自動 LiveUpdate にします。
- ・ Windows2000 の Start メニューで「Programs」、「Accessories」、「System Tools」、「Scheduled Tasks」の順に選択します。
- ・「Add Scheduled Task」をダブルクリックします。
- ・「Next」をクリックして、「Application」の中から「LiveUpdate」を選択して「Next」をクリックします。
- ・「Weekly」を選択して「Next」をクリックします。
- ・自動 LiveUpdate を実施する曜日と開始時間を設定します。

お客様のPCS-6000/Pが稼動していない曜日と時間を設定しておくことを推奨します。

時々 LiveUpdate を実行して AntiVirus のプログラム更新がされているか調べるようお願いいたします。

2)ウイルススキャンのスケジュール設定

デフォルトでは、金曜日 20:00 からシステムのウイルススキャンが開始され、動作完了後に結果の画面が表示されたままとなります。

ウイルススキャンはシステムの負荷が高いので、お客様の PCS-6000/P が稼動していない時間を見定す必要があります。もし、テレビ会議中に全ファイルのウイルススキャンが開始されると PCS-6000/P のメニュー応答が遅くなったり、LAN 通信中の映像や音声に影響が出る可能性があります。

スケジュールの変更方法

- ・ Windows2000 の Start メニューで「Programs」、「Accessories」、「System Tools」、「Scheduled Tasks」の順に選択します。
- ・ Scheduled Tasks ウィンドウで「Norton AntiVirus –Run Full System Scan-Administrator」をダブルクリックします。
「Norton AntiVirus –Run Full System Scan-Administrator」のダイアログボックスの「Schedule」のページでスケジュールを変更することができます。

お客様のPCS-6000/Pが稼動していない曜日と時間を設定しておくことを推奨します。

6. 最終設定

インストールのために、変更した設定を元に戻します。

- 1) Explorer を起動します。
 - 2) 以下のフォルダーに移動します。
C: Document and Settings -> Administrator -> Start Menu -> Programs
 - 3) tmp フォルダーの中にある、Startup.exe ファイルを、Startup フォルダーに移動します。
 - 4) Explorer を閉じます。
 - 5) Windows2000 のスタートメニューから「Shut Down...」から Restart を選び、PCS-6000/P 本体を再起動します。
 - 6) トップメニューが表示されたら、インストール前の言語設定に戻します。
 - 7) 再び、トップメニューが表示されたら、管理者設定メニューのWeb モニターをオフします。
- 理由は、インストールした AntiVirus 2006 の影響で Web モニター機能が使えなくなります。

7. AntiVirus インストール後の注意点について

7. 1 トップメニュー表示後のキーボード入力について

電源投入直後にトップメニューが表示されますが、不可視の AntiVirus のウィンドウが選択されているため、キーボードからの入力が有効になりません。そのため、キーボード入力を有効にするには、リモコンの ENTER ボタンを押してトップメニュー以外のメニューへ遷移するか、あるいはマウスの左クリックを押すことで、キーボード入力が有効となります。

7. 2 LAN 通信の動作について

回線種別に LAN を選択して発信する場合や LAN の着信の場合、接続途中のメニュー表示や画像表示が、AntiVirus のインストール前と比べて遅くなることがあります、動作に支障はありません。

7. 3 AntiVirus2006 の運用について

ウィルスからの被害を最小限に抑えるため、

- 定期的なウィルス定義ファイルの更新
- LIVE UPDATE によるプログラムの更新
- ウィルススキャンの動作

を継続的に実施する必要があります。そのため、PCS-6000/P にマウスを接続させておくことを推奨します。

1) スケジュール設定時間について

AntiVirus のスケジュール設定時間が PCS-6000/P 運用時間と重なるようになった場合、項目 4 を参照して時間の調整をする必要があります。

例えば、テレビ会議中に突然ウィルススキャンが起動された場合、PCS-6000/P に接続されたマウスを使って、スキャンをキャンセルして下さい。

2) ウィルススキャン完了後の画面について

スキャンの完了画面は自動で消去されません。PCS-6000/P に接続されたマウスを使って、表示内容を確認の上、画面を消去して下さい。



ウィルスが検出された場合の対処について
表示された画面の指示に従い、PCS-6000/P に接続されたマウスを使って、ウィルスを除去、検疫あるいは削除します。

3) 更新期限

AntiVirus 2006 をインストールしてから 1 年間はウィルス定義ファイルやプログラムの更新を受けられますが、1 年を経過すると更新サービスを受けられなくなりますので、表示された画面の指示に従い更新されることを推奨します。